

# 氷見市議会企画総務委員会会議録

令和3年2月12日（金）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前10時00分

閉会 午前11時57分

- 1 案 件 令和3年度予算案のうち企画総務委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名  
積良委員長、竹岸副委員長、正保委員、萩山委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 申田事務局長、舛田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、篠田副市長、金谷代表監査委員、京田企画政策部長、森秘書広報課長、高野地方創生推進課長、戸田企画政策部参事（地域振興課長）、藤澤総務部長、泉澤総務課長、東軒財務課長、三島税務課長、川淵会計管理者、釜田会計課長、新井監査委員事務局長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 経過及び結果
  - ・積良委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
  - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和3年2月12日

氷見市議会企画総務委員長

積良 岳

# 令和3年2月企画総務委員会調査日程表

令和3年2月12日(金)午前10時  
水見市庁舎議事堂委員会室

		10:00
◎ 議会事務局		10:02
・事業別明細書	P 9 3	
◎ 会 計 課		10:05
・事業別明細書	P 9 2	
◎ 監査委員事務局		10:07
・事業別明細書	P 1 1 8	
◎ 秘書広報課		10:10
・事業別明細書	P 1	
◎ 地方創生推進課		10:20
・事業別明細書	P 3	
◎ 地域振興課		10:47
・事業別明細書	P 5	
◎ 新文化施設建設室		11:20
・事業別明細書	P 8	
◎ 総務課及び選挙管理委員会事務局		11:27
・事業別明細書	P 1 0	
◎ 税 務 課		11:40
・事業別明細書	P 1 5	
◎ 財 務 課		11:50
・事業別明細書	P 1 2	

(注) 一般会計における給与費は総務課が所管です。

11:57

## 主な質疑応答

<p>秘書広報課 萩山委員</p> <p>森課長</p>	<p>5. 氷見まちづくり議会開催事業費について。名前以外に内容もかわるのか。</p> <p>前は2日間の本議会と、学習会を2回していた。本会議の2日間は変わらず、議会の傍聴は自宅でDVDをみってもらうことにしたので、実際集まっていたのは3回としたい。議会の進行は変えていないが、常任委員長からのアドバイスを無くすなど、簡略化した。</p>
<p>地方創生推進課 谷口委員</p> <p>高野課長</p> <p>谷口委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>高野課長</p> <p>萩山委員</p> <p>林市長</p>	<p>3. ふるさとづくり基金積立金について。現在の残高と使い道は何か。</p> <p>令和2年度末の残高は5億3,946万1,609円。使い道としてはぶり奨学金や空き家を使ったまちづくり事業等に活用している。</p> <p>いくらぐらい積み上げ、どう使っていくのか、決めてあるのか。</p> <p>積み上げの目標はない。有効に活用するよう財務当局と検討していく。</p> <p>5. まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費について。SDGsをどのように進めるのか。</p> <p>市の取り組みは市内にも理解されていないので、意識啓発の研修費を計上した。農業遺産やふるさとエネルギーの取り組みはSDGsの推進に寄与している。市役所だけでなく、先進の青年会議所や商工会議所、氷見伏木信用金庫などと連携していきたい。</p> <p>SDGsのバッジを付けるには市として宣言を出すなどの要件があるのか。</p> <p>富山市や南砺市、県などは宣言している。バッジは自発的に付けているものと思う。</p> <p>アピールするフラッグシップはなにか。</p> <p>農業遺産で取り上げた定置網は環境にやさしい持続可能な漁法で、400年の歴史の中で精神がある。再生可能エネルギーも地産地消している。しっかり研修し、推進の方策を探っていきたい。</p>

萩山委員	農業遺産の結果は2月中旬ごろに発表と聞いていたが、感触はどうか。
高野課長	2年前の発表は2月15日だった。2次審査がその時より遅れて実施されているので、ちょっと遅れるのではないかと考えている。
萩山委員	事前に打診はあるのか。
高野課長	1次審査の時は農水省のプレス発表の前日にあった。
萩山議員	世界農業遺産と日本農業遺産の認定状況はどうだったか。
高野課長	2次に進んだのは9地域で、日本農業遺産に認定され世界農業遺産に推薦されたのは3地域、日本のみだったのが5地域、認定されなかったのが1地域だった。(委員会終了後に訂正の発言あり)
正保委員	9. 大学連携推進事業費について。新たな取り組みはできるのか。
高野課長	農協や氷見高校、企業などで組織する連携推進協議会の理解を得ながら進めている。名城大学も全学連携となったので幅広くできると思う。
正保委員	他の課であるが養殖事業もやっている。一般財源であったと思うが、国の有利な財源確保にチャレンジしてはどうか。
高野課長	養殖は東京海洋大学と連携している。国の地方創生推進交付金は自立することを要件としているので水産振興課と連携して検討する。
萩山委員	7. ぶり奨学プログラム事業費について。コロナの影響で大学を中退する人がいると聞くがプログラムの人はどうか。
高野課長	報告を受けていない。
地域振興課	
谷口委員	20. 城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金について。予算額が倍となっている。4市の負担金の考え方、額について聞きたい。
戸田参事	考え方は、前身の城端・氷見線活性化協議会に準拠していて、駅の数と人口の割合で計算され、氷見市は18.2%となる。 LRT検討会の負担金は576万6,400円、活性化推進協議会に290万円強となる。
谷口委員	昨年アンケート結果は出るのか。個人名を書いたアンケートには公表

	しないとある。
戸田参事	アンケートを調査・分析して公表する。分析結果は出すが個人情報はない。
竹岸委員	<b>23. まちなかモビリティ運行事業費</b> について。モビリティは今どのようにしているか。
戸田参事	今は冬期間で休止しているが、運行後、コロナ禍の2カ月で50名あまりの実績があった。3月からの再開に向けPRしていく。
萩山委員	通年で542万円かけている。ペイしない事業と言いながら、どれくらいの利用人数を見込んでいるのか。
戸田参事	人数目標はない。1回の利用時間が3時間なので1日2回出せる。土日はフルに稼働できるようPRに努めたい。
萩山委員	1回の料金はいくらか。収益の中で圧縮すべきではないか。
戸田参事	3時間で2千円としている。アンケートに答えると5百円のおまみぐいクーポンが付いてくる。利益追求するものではないが、多くの方に知っていただくようPRする。
萩山委員	目標たてて、分析すべきである。
戸田参事	推進交付金の実証実験が終わった後に備え、どうしていくか検証していきたい。
萩山委員	<b>21. 北陸新幹線2次交通運行事業費</b> について。どのように評価しているか。
戸田参事	速達タイプ、臨時便の利用促進を目指している。加越能バスの利用実績では、高岡から和倉の行き帰りに、番屋街に沢山降りている。利用者増に向け、高岡市や富山県と協議していきたい。
萩山委員	これまでの延べ利用者数はどのくらいか。
戸田参事	今、資料としてないが、改めて資料としてお示しする。
萩山委員	<b>24. 危険老朽空き家対策事業費</b> について。雪で空き家がつぶれていると聞くが、現状は把握しているか。

<p>戸田参事</p> <p>萩山委員</p> <p>戸田参事</p>	<p>2件の話を聞いている。1件は所有者と自治会で対応している。もう1件は所有者が踏み切れないでいる。その後の話はないが、冬が終わって山間部であるかもしれない。予算では例年の5軒分を想定している。</p> <p>現状を調査し、積み上げてほしい。</p> <p>危険の除去として各自治会を通して把握は必要と考える。所有者の思いもあるが、危険が近所におよばないようにPRに努めていく。</p>
<p>新文化施設建設室</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p> <p>萩山委員</p> <p>布尾室長</p>	<p>1. 新文化交流施設整備事業費について。現在の進捗はどうか。</p> <p>昨年9月に契約し、10月に着工式を行い、12月から既存杭を撤去、12月後半から杭打設中で3月中ごろまでに終わる。杭打ちが終わったところから基礎張りを設置している。</p> <p>杭の撤去で想定外のものはなかったか。</p> <p>報告されていない。</p>
<p>総務課</p> <p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p>	<p>7. 行政経営推進事業費について。コンプライアンスでどんな事業をするのか。</p> <p>コンプライアンス委員から意見を聞く。令和3年度はハラスメントに特化した研修をする。</p> <p>なぜ今特化するのか。きっかけはなにかあるのか。</p> <p>風通しの良い職場環境を目指しているが、ハラスメントの職員アンケートに事案があり、委員からも意見があったので実施することにした。</p> <p>4年前に比べ少なくなっていると聞いていたが、直近の数字はあるか。</p> <p>直近の数字は、横ばいで増えていない。減らしていきたいと思っている。</p> <p>ハラスメントをする側の属性はどうか。</p> <p>管理職だけではなく、会計年度職員もする側としてあがっている。部下にだけではなく、同僚に対してもしている場合がある。</p>

<p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>萩山委員</p> <p>泉澤課長</p>	<p>調査はいつされたのか。</p> <p>毎年秋に実施し、11月のコンプライアンス委員会にお示ししている。</p> <p>する側に市長や副市長はあったか。</p> <p>特別職はなかった。</p>
<p>税務課</p> <p>萩山委員</p> <p>三島課長</p> <p>萩山委員</p> <p>三島課長</p> <p>萩山委員</p> <p>三島課長</p>	<p>税金について。令和2年度の税金の見込みはどうか。</p> <p>現在の決算見込みでは、約50億9千万円となり、約1億1千万円の減を見込んでいる。</p> <p>滞納の状況はどうか。</p> <p>国の制度で納税猶予があり、約5,900万円が対象となっている。</p> <p>件数としては何件か。</p> <p>個人と事業者数で79件あり、その割合は約半々ぐらいだった。</p>